

ニ見エタリ、

〔甲斐名勝志巨麻郡〕八嶽 此山西は信濃國諏訪郡、北は佐久郡なり、嶺分れて八有故に八が嶽と云となん、麓の小荒間より絶頂まで四里許り有り、小荒間村に法性院と云禪院有、武田機山侯建立し給ふとぞ、村の東の方は、天文九年二月十八日、信濃の村上氏と武田勢合戦有し地なり、今に劍戟の折たる、或は鎌などありとなん、四間ばかりの大石あり、機山侯登りて遠見し給ひし石也とぞ、又御座石と云あり、大サ六間四方、高サ一丈ばかりも有、遙東の方然場の原と云有、信濃佐久郡へ行道あり、此原は天文八年閏六月廿日、武田勢村上勢合戦有し地なり、

〔裏見寒話山河〕八ヶ嶽亥子方

峯八ヶに分れて見ゆる、至て峻岨なる山也、雪のつもりし時は、別てすさまじいやうに覺へたり

予が覺
違か

〔甲斐國志二十九〕巨摩郡逸見筋

一八ガ嶽 長澤、西井出、谷戸、小荒間諸村ノ北ニ在リ、其南麓西、小荒間村ノ北花鳥屋ハナトトロヤヨリ、東界川ニ至ル、四五里ノ間、諸村入會ノ草場ナリ、峯巒崔嵬トシテ八葉ニ分ル、故ニ名トス、其一峯ヲ檜ガ嶽ト云、雷神或ハ石長姫イハカミヲ祀ル、三代實錄ニ所謂檜峯ノ神ナリト云、谷戸村ヨリ三里許アリ、毎年八月十一日ヲ祭日トス、凡八月ヲ登躋ノ候トス、本州ノ諸高山皆ナ然リ、權現ガ嶽、小嶽、赤嶽、麻姑嶺、風三郎ガ嶽、編笠山、三ッ頭、其餘種々ノ稱呼アリト云、其山脈北へ延テ、信州蓼科山、大門嶺、和田嶺等ニ接ス、其中間ニ神池アリ、山ノ東面ハ佐久郡、西面ハ諏訪郡ナリ、又山中ニ烽火台アリ、富嶽ノ絶頂ヨリ望ムニ、此山及ビ白峯、金峯ノ三山ハ、本州諸山ニ卓絶シテ雲表ニ見ハル、又上州武州ノ地ヨリモ、遠望シテ認ムベシト云リ、其靈秀高大ナル知ルベキナリ、良材、黃連、石耳、磁石等ヲ産ス、又泉源多クシテ、國ニ益アルコトハ、前後ニ錄スルガ如シ、